# 「産業を支える人づくり」に向けた政策の方向性について

参考1－1

## 目指す方向

産業振興計画を推進し、本県産業を着実に振興していくためには、各々の地域で中核となり産業を支えていくことができる「人材」が重要

人材を増やす方策として

Ⅰ　人材を県内で育てる（育成戦略）　　Ⅱ　人材を外から持ってくる（獲得戦略）　　Ⅲ人材を引き留める（流出防止戦略）

支援の内容　⇒　ⅰ）基礎的なもの、ⅱ）高度化・専門化したものを対象とするもの

### 1．人材を県内で育てる

**（1）年齢・段階に応じた産業の基礎人材づくり**

- ①小学校、中学校、高等学校、大学における教育
- ②県内企業の情報の提供、就職相談
- ③若手人材による異業種交流研修

**（2）地域産業を創造、リードする人材育成**

- ①アドバイザー、工業技術センター研修

↓

OJT、OFF-JTを組み合わせた体系的な人材育成の必要性

### 2．人材を外から持ってくる・人材を引き留める

**（1）産業の担い手の確保に向けた仕組みづくり**

- ①担い手対策（一次産業）（担い手となれるような支援を含む）
- ②移住、UJIターン、就業相談
- ③県外大学等への県内就職に向けた情報提供

**（2）専門的なノウハウ、技術を持った中核人材の県外からの確保**

- ①UJIターン関連事業の推進
- ［②キャリア人材の誘致］

基礎的なもの ↓

高度化・専門化したものを対象とするもの ↓

**高度化・専門化した産業人材**